


# イワクラ調査票

提出月日 2016年5月3日

受付番号 A00059

整理番号 290018

単独・群	概要（遺物・伝承）
<input type="checkbox"/> 単独のイワクラ <input type="checkbox"/> イワクラ群	<p>村文化財  <b>【村史から】</b>            北野牛ヶ峯の地には巨岩大石が累積しており、一枚岩の巨石が自然の節理によって分裂したもので、上方のものを杢形岩と言ひ、転がり落ちた下方のものを岩屋と言う。岩屋の屋根を形成する巨石の前方に丈六尺の大日如来を線刻し、その底部を岩窟にして護摩壇を設けている（岩屋）。</p>
名称	
牛ヶ峰の岩屋	
公開可否	
公開	
所在地	参考資料文献（文献・書籍・ホームページ）
奈良県山辺郡山添村北野 牛ヶ峰山中 布目湖右岸山頂付近にある この20m上部に杢形岩有 岩屋横の山道約5分で牛ヶ峰巨石群	山添村村史
GPSデータ	
34.694876, 135.985903	
写真	
	<p><b>情報提供者</b></p> <p>柳原輝明</p> <p><b>その他</b></p> <p><b>【イワクラ（磐座）学会の解釈】</b>            今日的解释として、岩屋は、その形状から日の入りの太陽を受け入れるようになっている。夏至から冬至までの期間の太陽を岩窟内の後方壁に投射することにより季節の移り変わり、すなわち暦の役割を果たしていたものではないかと考えられている。</p> <p>学会使用欄  <input checked="" type="checkbox"/> イワクラ認定  <input type="checkbox"/> 暫定イワクラ  <input type="checkbox"/> 未イワクラ</p>